



「やる気・根気・勇気(心の苗木)」を自分で育てる柏っ子

校長 南舘義孝

1月下旬、朝早く、下級生が登校する前に校地内を雪かきする6年生の姿がありました。とても寒い朝でしたが、6年生が全校のために進んでボランティア活動を行う「やる気」が育っていることに心が温かくなりました。そして、6年生に「ありがとうございます。」と感謝を伝える下級生を見て、さらに心が温かくなりました。

保護者・地域の皆様、柏っ子の安全のために雪かきや見守り等、ありがとうございます。

◆ 自分の思いや考えを伝えた「外部講師による授業」

昨年12月28日に、市総合教育センター主催の「社会科授業力アップ研修講座」が本校を会場として開催されました。5年2組の児童が、体育館にて市内の約60名の小・中学校の先生方を前に授業を受けました。授業をしてくださった先生は、研修講座の講師、筑波大学附属小学校教諭 由井菌先生です。柏っ子は、大勢の参会者がいる中、「勇気」を出して堂々と発表しました。授業後、由井菌先生より「授業をされていて楽しかった。子どもたちは、環境が違う中でも自分の思いや考えを伝えようという気持ちが伝わってきて素晴らしかった。」という、お褒めの言葉をいただきました。ありがとうございます。

◆ 楽しみながら八戸への知識を深めた「はちのへ郷土かるた大会」

年明け、1月6日に、市総合福祉会館で開催された「はちのへ郷土かるた大会」に本校から20名ほどの児童が参加しました。参加した児童は、休み時間等に友達と楽しみながら練習してきました。大会当日は、八戸の歴史や文化、名所などが取り入れられた絵札を、柏っ子は「根気」強くどんどん取っていきましました。団体戦の部で、柏崎小学校が優勝しました。おめでとうございます。柏っ子からは「札に書いてある場所に行ってみたいなと思います。そして色々食べてみたり、やってみたりしてみたいなと思います。」という、ふるさと八戸を愛する感想がありました。



◆ 一人一人が輝いた「第43回愛好会合同演奏会」

1月21日、市公会堂において、3年ぶりに本校PTA主催の合同演奏会が開催されました。大勢の子ども、保護者、地域の皆様に来場いただき、児童は、日頃の練習の成果を十分に出し、演技・演奏を堂々と発表しました。一人一人が輝いて見えました。発表後は、会場から大きな温かい拍手をいただきました。コロナ禍、そして3年ぶりの開催ということで、試行錯誤したことが多々ありましたが、合同演奏会実行委員会の皆様の協力を得て、盛大に開催できましたこと、大変うれしく思いました。

「保護者力」を強く感じる演奏会となりました。柏っ子のために、誠にありがとうございます。

